



「新旧輪番・教務所長離着任式」



4月7日(日) 13時  
鹿児島別院本堂にて花束贈呈



鹿児島教区教務所長

吉川 孝介  
きつかわ こうすけ

先般、4月1日付をもちまして、

鹿児島教区教務所長・本願寺鹿児島別院輪番を拝命いたしました。有り難く存じますとともに、責務の重大さを痛感いたしております。もとより浅学非才の身であるうえ、私にとって不安が期待を上回るものでございますが、皆さま方からのご指導、ご鞭撻を賜りながら教区・別院等の護持発展とご法義繁盛、そして「御同朋の社会をめざす運動」の推進に貢献するため、職責を全うすべく粉骨碎身の努力をいたす所存でありますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、私は社会人を経て、平成10年より宗務員生活をスタートし、初任地は東京の本願寺築地別院(現・築地本願寺)で、20年の間奉職をさせていただきました。その間、幸いなことに様々な仕事に関わらせていただく事ができ、特に印象的なことは大きな変革期に携わることが出来たことです。2015(平成27)年7月よりスタートをした改革プロジェクトの事務

担当者としてこのプロジェクトに携われたことは、私にとって大変貴重な経験となり、現在においても重要な羅針盤の一つになっています。この改革プロジェクトにおいて重要な事は、今置かれている現状の分析、また一般生活者の方々が寺院に何を求め、何に期待をしているのかを正確に把握すると共に、それに対する効果的な企画を実践投入することでありました。この改革を推進する中で最も困難であったことは、分析でもなく企画でもなく、新たな変化を内外へ浸透させることでありました。ここ数十年間において我々の教団内外は大きな変化を必要とせず、成功体験を収めてきたため、変革に慣れていないどころか、逆に大きな変化を好まない傾向が強く、この意識こそが大改革を推進するにあたって高い隔たりとなりました。2020(令和2)年1月15日に国内最初の感染が確認された新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、その拡大防止のために国内の経済社会活動は抑制を余儀なくされ、経済的な波及経路を拡

げながら、日本経済に甚大な影響をもたらしました。本宗門においてもその影響は計り知れないものであり、また一般寺院においても従前のような運営、活動が制限され、いとも簡単に我々を取り囲む環境は一変いたしました。

終息した今もなお、私たちを取り巻く環境は変化を続けています。新型コロナウイルスによるパンデミックをはじめ、少子高齢化が進み、環境破壊、格差社会、天災などの問題が深刻化し、教団においても、宗教離れ、求心力・伝道力の低下、維持の困難性など様々な問題を抱えております。これらの問題が山積している中、念仏者である私たちに今何ができるか自らに問い、また、次の世代にお念仏のみ教えをどのようにつなぎ、いかにして「まことのよろこび」を伝えていくか、私たちひとり一人に与えられた大きな課題でもありましょう。

私たちを取り巻く環境が大きく変化し続ける中、私たち念仏者においても「まことのよろこび」伝え広めていくためには、社会構造の変化と同様に、大きな変化、改革が必要であると思ふことは必然であり、今こそ明治・大正・昭和の激動の時代を生き抜かれた先達の方々の行動力に学び、変化を恐れることなく改革を遂行する勇気が必要ではないかと思慮いたします。

あたかも本年は鹿児島教区・本願寺鹿児島別院において宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が厳修となり、各

委員会等にて着々と準備が進められております。このたびの教区慶讃法要は50年に一度の大切なご法縁であり、また将来の教区における重要な起点にもなるものと考えられます。我々を取り囲む状況は非常に厳しいものでありますが、先達の方々のようにたゆまぬ研鑽、惜しみない努力、乗り越える勇気をもって、この状況を乗り越え、ますます鹿児島

地が仏法興隆の中心拠点となるべく、教区一丸となって慶讃法要をお迎えさせていただきたく存じます。はなはだ微力の身ではございますが、教区の皆さまのご指導のもとに教区の護持発展とご法義繁盛とともに、与えられた課題に取り組む所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。

## 退任のご挨拶



大谷本願総合整備推進事務所

部長

森田 順照

もりた じゅんしょう

平成から令和になる年に鹿児島別院輪番・鹿児島教区教務所長・

鹿児島竜谷学園理事長を拝命してから早5年の月日が過ぎました。この度、令和6年4月

1日付にて、大谷本願総合整備推進事務所に異動となりました。別院・教区の関係者の皆様には、様々なご指導を賜り感謝申しあげます。私にとって、鹿児島別院で体験したことは、これからの人生において非常に価値のある尊いものとなりました。

また、この教区をより方向に導こうとされるご法中・ご門徒の方々の思いに触れ、私は少しでもその期待に応えることができたのだろうかと思ひます。11月

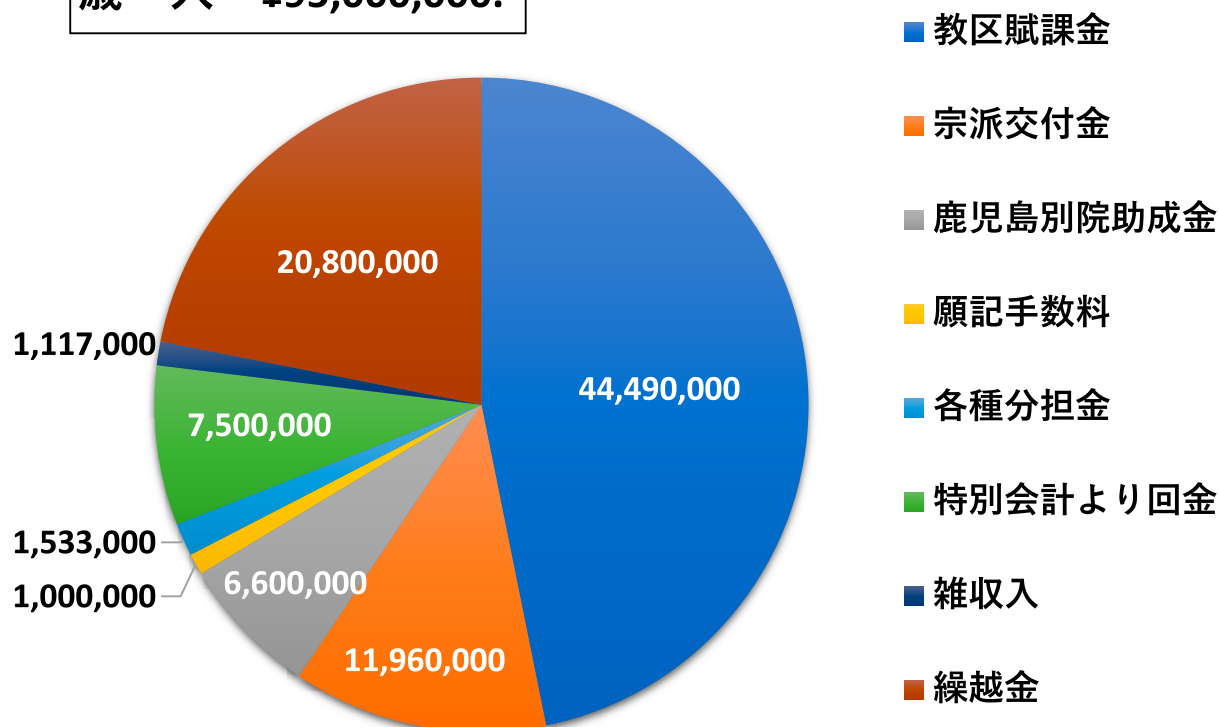
の鹿児島教区・本願寺鹿児島別院親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年記念法要に向けて、取り組みを進めておられることと存じますが、盛会裏に修行されますこと心より念じております。

さて、この度異動いたしました総合整備推進事務所は、大谷本願の建物の耐震化や新しい納骨堂の建設、古い建築物の撤去など、これから計画を練り実行に移すやりがいを感じる部署であり、鹿児島での経験を発揮し宗務に臨みたいと思ひます。

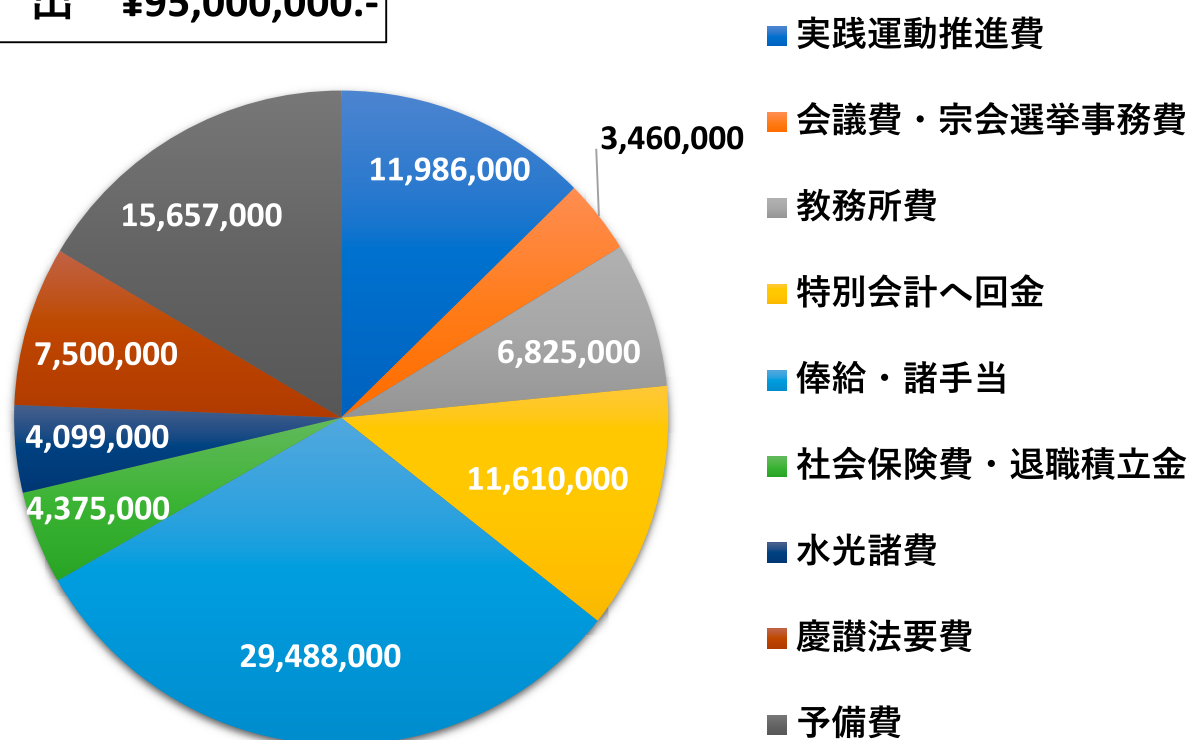
鹿児島教区の皆さまには、在任中は本当にお世話になり衷心より御礼申し上げますとともに、さらなる教区のご発展を念じあげ、退任のご挨拶いたします。

## 令和6年度 鹿児島教区一般会計予算

歳入 ¥95,000,000.-



歳出 ¥95,000,000.-



詳細については、予算書をご参照ください。

## 法要式典部挨拶

この度、慶讃法要実行委員会法要式典部長に就任いたしました、南薩組顕證寺の藤直亮です。

今回の法要では、「新制 御本典作法 第1種」を全座で依用することといたしました。

この聖典の成立をもって立教開宗とされる、私たちの根本聖典「顕浄土真実教行証文類」の総序・教巻・行巻・信巻・証巻より、それぞれ御文をいただいて、今回の法要を機縁として新しく制定された作法です。新しい作法というと難しく感じるものですが、今回の作法はいったん慣れるとリズムも良くお勤めしやすく、お慶びの法要に相応しいものとなっております。

法要式典部といたしましても、この一年を通して教区での講習会・各組への講師派遣・事前習礼の実施等の様々な取組を通して、この作法の普及をサポートしてまいります。

教区・別院の皆様におかれましても、各寺・各組での法要等には是非依用いただき、御門徒の皆様への普及に御尽力をいただきたいと思っております。

教区・別院、僧侶・門信徒すべてが一体となり、声高らかに御生誕と立教開宗を慶べる法要をお勤めいたしたいと思っております。皆様の御協力を何卒よろしくお願いいたします。

## 広報伝道部挨拶

この度、慶讃法要実行委員会広報伝道部長に就任いたしました、川内組盈泉寺の佐藤一樹です。

広報伝道部では重点目標②「伝わる伝道」、重点目標③「開かれた寺院」等を踏まえて活動を展開してまいりたいと考えています。

具体的には稚児行列や西本願寺こどもまつりなどの子ども向け行事やBouz Meets Fesへの支援等を通じて、幼児から10代、30代までの若い世代に向けた行事・情報発信を行ってまいります。その際には仏婦・仏壮等、各教化団体とも連携を図りながら様々な世代が交わる行事となるように努力してまいります。

他にもテレビなどのオールドメディアを通じての広報伝道活動を基軸としながらも、今までの法要の際には活用していない新たな媒体であるYouTubeやInstagramなどのSNSを通じての情報発信も積極的に行い、新たな広報伝道の在り方も模索していきたいと考えています。

また、離島や離郷門信徒の皆さまへもオンラインを活用した情報発信などを通じてアプローチを行ってまいります。

今回の法要を通して、限りある大切な予算を有効に活用しながら、伝統ある本願寺鹿児島別院・鹿児島教区をしっかりとブランディングしていきたいと考えております。



高札立札式  
(令和6年6月17日)

## 参拝総務部挨拶

この度、慶讃法要実行委員会参拝総務部長に就任いたしました、出水組西報寺の笠置孝淳です。

今年の11月6～9日に厳修される慶讃法要にあたり、私たちの参拝総務部は会場への誘導、受付、堂内への誘導等と参拝者を案内する役割がありますが、近年、様々な事故等を受けて危機管理の重要性が増しております。

参拝総務部として一番大切にしなければならぬのは参拝者の安全であり、如何にして参拝する方々が安心して法要に参加できるようにどうすればよいのか、また、参拝者だけでなく別院の周辺には多くの商業施設や公共施設等もありますので、交通渋滞への対策や通行する方々の事故防止等、多くの課題への対策を部員の方々と各部会と連携をしながら知恵を出し合い、課題解決を行っていきます。

そして、慶讃法要を通してお念仏のご縁が益々広がるように支えて参りますので宜しくお願いいたします。

## さつま開教150周年 法要推進部

この度、慶讃法要実行委員会さつま開教150周年法要推進部長に就任いたしました、鹿児島組光林寺の林光信です。

大八木廣澄先生は、平成14年の明如上人100回忌法要に際し、法要実行委員長として「ご法要は、単なる讃仰のためだけではなく、〈開教の意味とその原点〉を問いつつ、次の世代へと〈み教え〉が正しく伝承されていくための機縁となるべきである」とご教示されました。そこには、禁制当時のご門徒は、厳しい弾圧の中でもなぜ念仏を捨てなかつたのか、人間は何をよりどころに生きるのかという、自己覚醒にむけた「問いかけ」があります。そして「原点回帰」「ご信心の大切さ」を教えてください。

そこで、「さつま開教150周年法要推進部」では、令和8年の「さつま開教150周年記念法要」を見据えての活動を進めていきます。特に、「法要日時」、「法要趣意書」(案)等の検討、並びに、「かくれ念仏顕彰委員会」とも連携し、禁制、開教にかかわる情報共有、保存活動を進めているところです。

今後ともご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### 慶讃法要記念イベント

## おてら こどもまつり

# 10.20(日)

10:00~16:00 予定

開催  
決定

別院を会場に慶讃法要記念イベント「おてら こどもまつり」を開催します！子どもたちが楽しめる内容盛りだくさん！ぜひお越しください！

- 稚児行列
  - ミニゲームコーナー
  - おゆずり会
  - キッチンカーの出店 など
  - 合同初参式
  - 木工教室体験
  - 赤ちゃんハイハイ競争
- ※詳しくは今後お知らせします

### 稚児行列 参加者募集!

色鮮やかな衣装で天文館を練り歩こう！

おてらこどもまつりの午後から、色鮮やかな衣装で天文館を練り歩く伝統行事「稚児行列」を開催します。別院での開催は約10年ぶりとなります。

ぜひこの機会にご参加を！

内容：稚児の衣装を着て天文館を歩く  
対象：3歳～小学校6年生  
参加費：お一人1万円  
(衣装代、記念品代込)

※定員になり次第受付を終了します。参加ご希望やお問い合わせは別院ホームページまで。



# 若婦人聞法のつどい

昨年10月22日、「若婦人聞法のつどい」が出水組西照寺で無事開催されました。

思えば、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大のため大会の中止が続き、当時は感染がどこまで広がっていくのか不安のなかではありましたが、開催に向けて早々に実行委員会を立ち上げ、月1回のペースで委員会を重ねていきました。大会のテーマは「お寺に親しもう and TERA」。サブタイトルに「〜寺とTシャツと私〜」：なんて素敵なタイトルでしょう！

このつどい開催には、次世代を担う若婦人の育成と、寺院・単位の更なる活性化が願われており、これらをもとに「お寺に気軽に寄ってもらうためには？」「親近感をもてる会にするには何をどう伝えたらいいのか？」などの議論を経て、このようなテーマに決定され、一人ひとりの考えや思いがた



くさん詰まったテーマとなりました。  
「令和5年度は出水組で絶対開催しよう！」と強い決意のもと、実行委員全員が、せっかくこの大会に参加してくださいと方々に、「楽しかった！参加してよかった！」と思っていたために、「今、関心のある事柄や物って何だろう？」と考えながら進め、さらには実行委員を【キャンドル班】と【ワークショップ班】の2班に分け、より活発な議論が繰り返されていきました。

キャンドル班は、組内寺院に協力を仰ぎ、お寺での残蠟を使ったキャンドルを作り、参加者へのお土産にすることとしました。キャンドルに香りを入れる作業ではさまざまな案が出て、試行錯誤しながら「ああでもない、こうでもない」と議論し合ったり、またお子さんもお手伝いに来たりと、和気あいあいとした楽しい現場となりました。ワークショップ班も参加する皆さまが飽きないようにと



創意工夫をして、ご講師と何度も打ち合わせを重ね、内容を決めていきました。

思い返すと委員会を重ねるごとに、一人ひとりが大会当日に向けて、がんばろう！たのしもう！という熱意が高まっていく過程がとても貴重な時間だったように思います。また、連盟役員・事務局の皆さまには、わからないこと、疑問に思ったことをお尋ねする際に、親切丁寧にわかりやすく説明していただいたこと、皆さまの姿勢に学ぶことが多かったです。

そして実行委員のみなさん！それぞれにお仕事されているなかでも、時間を割いて毎月委員会に参加してくださいとお願いしました。いろいろな意見、アイデアを机上で議論しましたね。大会当日も自分の担当以外のことにも目配り、心配り、言葉かけでスムーズに進めることができました。大会が終わった後のみなさんのほっとした表情が忘れられません。

寺とTシャツと  
仲間へ  
ありがとう



## 2024 (令和6) 年度 鹿児島教区教務所 職員一覧



ほんだ じゅんせい  
本田 淳誓

熊本教区  
阿蘇組光雲寺

### 教務所

教務所経常業務把握  
服務全般、組長会  
賦課制度審議会  
護持口数調査調整委員会  
月間事業報告

### 実践運動

実践運動把握

### 教化団体

教化団体把握

### 外部団体

鹿児島県矯正事業後援会



ゆき いっせい  
幸 一誠

鹿児島教区  
揖宿組大光寺

### 教務所

教区会・常備会、護持口数調整委員会  
減免委員会、寺院振興対策委員会  
災害対策委員会  
宗門総合振興計画関係  
慶讃法要事務所関係  
教務所経常業務全般  
教区会計全般、願記  
宗派情報共有システム「Garoon」

### 実践運動

実践運動把握  
重点プロジェクトリーダー協議会  
寺院振興部門補佐

### 教化団体

布教団、本派矯正教化連盟  
本派更生保護事業協会  
保護司・篤志面接委員  
仏教婦人会連盟補佐  
寺族婦人会連盟

### 外部団体

鹿児島県教誨師会  
真宗教団連合鹿児島支部  
光寿会



てるおか やすのぶ  
暉峻 康信

鹿児島教区  
東隅組金剛寺

### 教務所

地方選挙管理委員会  
公職選挙推薦、願記  
慶讃法要事務所関係補佐  
宗派情報共有システム「Garoon」

### 実践運動

実践運動主幹  
教区委員会・常任委員会  
組正副委員長会  
全体推進連絡協議会  
同朋部門

### 教化団体

保育連盟、門徒総代会  
BMF補佐  
仏教壮年会連盟補佐【広報部】

### 外部団体

教区懇談会、鹿児島「同」宗連  
人権政策確立要求鹿児島県実行委員会



【嘱託】  
うちむら りつこ  
内村 律子

### 教務所

教区会計全般  
教区会・常備会補佐  
願記



【嘱託】  
やまもと りか  
山本 利華

鹿児島教区  
鹿児島組蓮乗寺

### 教務所

教区会計補佐  
教区ホームページ管理  
教区だより  
教務所長・職員出勤管理  
台帳・目録・公文書等受信の管理  
公文書等発送・管理  
備品管理、慶弔、願記

### 外部団体

教区懇談会補佐



かとう ふみや  
加藤 文彌

岐阜教区  
岐阜組教寿寺

### 教務所

願記  
得度講習会関係補佐

### 実践運動

次世代部門

### 教化団体

仏教壮年会連盟  
仏教青年連盟  
少年連盟  
寺族青少年連盟 (BMF含む)

### 外部団体

龍大校友会



たかや てんりゅう  
鷹屋 天祐

高岡教区  
川上組専勝寺

### 教務所

教区ホームページ管理補佐  
教区だより補佐  
得度講習会関係、願記

### 実践運動

寺院振興部門

### 教化団体

仏教婦人会連盟  
コールマイトリー  
スカウトクラブ  
門徒推進員連絡協議会  
勤式練習所  
本派社会福祉推進協議会  
ビハーク鹿児島、講社

### 外部団体

靖国問題を考える宗教者会議  
中仏通信教育・同窓会



重要!!

## 事務所(寺院)備付け書類の写し提出について

宗教法人法第25条第4項の規定により宗教法人は、寺則に記載の毎会計年度終了後4ヶ月以内に事務所備付け書類の写しを所轄庁に提出しなければなりません。

ご確認のうえ、必ず所轄庁へ提出ください。

※未提出もしくは期間外提出が続いた場合、10万円以下の過料に処せられます。

所轄庁：鹿児島県総務部学事法制課県民情報係

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県庁内

— 提出にあたっては、持参もしくは郵送でも可能です —

### 鹿児島教区教務所

ひとの動き

お世話になりました

本川 朋樹【退職】

藤枝 泰了【退職】

大島 光海【福岡教区教務所へ】

平川 広【鹿児島別院法式部へ】

よろしく願います

加藤 文彌【鹿児島別院法式部より】

鷹屋 天祐【鹿児島別院法式部より】

### 布教使任命

北 隅 性原 安満 秀法 R 6・5・1

### 得度許可

鹿児島 妙行 井上 孝史 R 5・9・15

東 隅 淨満 白坂 都季 R 5・12・15

南 隅 光源 藤野 廣慈 R 5・12・15

川 内 永楽 守 宗真 R 6・2・15

川 内 安国 三浦 歓喜 R 6・2・15

南 隅 瑞芳 平塚 真成 R 6・3・15

### 教師授与

出 水 西照 江崎 宗一郎 R 6・1・10

北 隅 高善 河野 泰成 R 6・5・8

### 住職任命

北 隅 西念 原田 慈縁 R 5・9・4

南 薩 光明 片岡 貴史 R 5・9・19

### 住職退任

南 薩 光明 片岡 哲英 R 5・9・19

### 敬 弔

謹んでお悔やみ申しあげます

南 島 稱念 前住職 高石 卓容 R 5・8・17

鹿児島 明楽 前坊守 高木 壽子 R 5・10・22

鹿児島 光善 前住職 藤善 清文 R 5・11・3

鹿児島 善福 前住職 岡田 教昭 R 6・1・7

川 内 永楽 前住職 守 正彦 R 6・1・8

鹿児島 妙行 前坊守 井上三從子 R 6・1・21

南 島 西光 前住職 上戸 秀善 R 6・2・3

東 隅 金剛 前住職 暉峻 康瑞 R 6・3・18

川 内 金照 前坊守 藤本 孝 R 6・5・4

北 隅 心光 前住職 藤谷 康紀 R 6・6・24

南 隅 大円 香典返し

南 隅 願生 香典返し

出 水 證海 香典返し

川 内 養信 香典返し

南 薩 源正 香典返し

南 薩 廣泉 香典返し

揖 宿 光榮 香典返し

鹿児島 妙行 香典返し

### 教区懇志

北 薩 心光 香典返し

社推協特別協賛金 尊い浄財を頂戴いたしました

(敬称略)